令和3年度シラバス　作業療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
日常生活活動	講義・演習	小田 佳子・岡田 誠暁	
時間数（単位数）	**授業回数**	**年次**	**開講時期**
30　時間　（　1　単位）	15　回	2　年次	前期

授業の目的・概要

患者の日常生活活動（Activities of daily living；ADL）の維持改善は、作業療法士が取り組むべき重要な課題である。この授業ではADLの基礎的知識、評価、動作別の特徴を学び、さらに疾患別のADLの特徴やその治療的介入方法について学ぶ。

授業の到達目標

1.日常生活活動について説明ができる。　2.日常生活活動障害の評価ができる。
3.主となる対象疾患の日常生活活動とその援助法について説明ができる。
4.日常生活活動障害の原因を分析し解決策を導き出すことができる。
5.日常生活活動障害に対する訓練プログラムを立案し実施できる。

回	内容
1	オリエンテーション
2	日常生活活動の評価
3	自助具　　作成課題について
4	自助具発表
5	コミュニケーション
6	疾患別ADLについて　①　中枢性疾患　片麻痺
7	疾患別ADLについて　②　中枢性疾患　片麻痺
8	疾患別ADLについて　③　中枢性疾患　パーキンソン　小脳変性
9	疾患別ADLについて　④　リウマチ
10	疾患別ADLについて　⑤　筋ジストロフィー　ALS
11	疾患別ADLについて　⑥　内部疾患
12	日常生活活動訓練の実際①発表
13	日常生活活動訓練の実際②発表
14	日常生活活動訓練の実際③発表
15	授業のまとめ

成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験	80%	上記の授業の到達程度で評価する
レポート		
小テスト		
平常点		
その他	20%	グループ発表、自助具作成の内容で評価する。
自由記載		

教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
新版　日常生活活動（ADL）第2版	伊藤利之・江藤文夫　編	医歯薬出版社

自由記載

参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
標準作業療法学　身体機能作業療法　第3版	山口昇 編集	医学書院

自由記載

備考

予定は、前後変更する可能性がある。その場合は通知する。
実技・実習の場合は、実習室で行います。各種道具を使用するため協力して準備をしてください。